

## 「海幸ゆきのや合同会社」の設立について

関西電力株式会社と IMT エンジニアリング株式会社は、バナメイエビの生産・加工・販売を行う「海幸（かいこう）ゆきのや合同会社」を令和 2 年 10 月 7 日に設立した。

本合同会社は、IMTE と国際農林水産業研究センター（JIRCAS）が開発した室内完全閉鎖循環方式（ISPS：Indoor Shrimp Production System）でバナメイエビの生産を行うものである。生産施設は、静岡県磐田市竜洋地区に建設する予定である。ISPS システムで生産したエビは、薬を一切使わない安心安全な食材としての評価が高い。

施設は 2021 年 1 月に工事着工、2022 年 1 月から生産開始、同 5 月には初出荷の予定である。

施設の敷地面積は 1.6ha、幅 12m、長さ 40m のプール 6 レーンで、妙高市の現プラント（2 レーン）の 3.5 倍の水槽容量を持つ。年間 80 トンの生産を計画しており、陸上養殖施設としては、日本最大規模になる。IMTE では妙高市、モンゴル国ウランバートル市に続き、磐田市の施設が 3 例目となる。

IMTE では、今後、ISPS の導入事例を増やし、ISPS の国内、海外の普及を目指すと同時に、中小規模の ISPS 施設の開発や稚エビの国産化も進めていく方針である。

IMT エンジニアリング株式会社

代表取締役社長 富田 ゆきし